

食料・農業・農村政策審議会企画部会（第112回）への意見

二村 睦子

1. 農地の問題について

産直産地の交流などで、農業生産者の方と意見交換を行う中で、「新規就農したくても使える農地の確保に苦労する」「他の地域で農地を使いたくても難しい」「現在借りている農地も、非農家の相続人が処分して歯抜けしていく」というお話をよく聞きます。

地域計画づくりにおいて、実行性があり、かつ農業生産力の向上につながる計画がつけられるかが非常に重要だと思います。協議に参加している地元の関係者だけで、どこまでの見通しが出されるか、きれいに計画を作るのではなく、課題を明らかにすることも含めて計画づくりを進めるべきと考えます。

また、「地域計画」で明らかになった地元の協議だけでは対応困難な農地に、行政がどう支援を進めることができるのかについて検討をお願いしたいと思います。基本計画の策定においても、各地で進んでいる地域計画づくりの中で見えてきている課題を取り上げて検討すべきではないでしょうか。

2. 付加価値向上の取り組みについて

付加価値向上や知的財産は重要な課題ではありますが、全体の課題の中の技術の「部分」である点に留意が必要だと思います。また、農産物のブランド化は、自給率の向上には直接的には貢献しない点も踏まえておく必要があります。

技術・付加価値向上としては、消費者ニーズに沿った生産、6次化などに取り組んできたと思うが、その現状と評価、課題の分析をお願いしたいと思います。

以上